

未来を育てる

校長 中山 明広

岸川中学校長として3年目となりました。引き続きお世話になります。今年度も、生徒の持てる力を引き出しながら、保護者・地域の皆様と一体となって、

○生徒が岸川中に通って良かったと思える学校

○保護者や地域の皆さんが子どもを岸川中に通わせて良かったと思える学校

○教職員が岸川中で働けて良かったと思える学校

を目指してまいります。何卒益々の御支援・御協力をいただきますようお願い申し上げます。

『私たち大人が育てているのは、目の前にいる子どもであると同時に未来である。』先輩教師の教えです。私はこの言葉を大切にしてきました。一人一人の生徒は大切な存在であり、素晴らしい力を持っています。そんな未来を担う若者の健全な育成に全力で取り組んでいくことが、私たち大人の重要な責務であると考えています。義務教育最後の3年間を通じて、社会で自立して逞しく生きていくための生きる力を育てていきたいと思えます。

岸川中では、「学び」と「未来」をつなぐキャリア教育に力を入れています。昨年度には、外部人材を招いて生徒に直接指導していただく機会も多く設定してきました。同時に、地域貢献活動（ボランティア）などの学校と地域社会を結びつける取組にも力を入れています。

元来、教育は生徒とその未来を育てる営みであり、キャリア教育は特別な教育ではなく、どこの学校でもすべての教育活動を通じて重視しなければならない教育でもあります。

生徒たちは、将来の社会的・職業的な「自立」に向けて、様々な力を身につけていくことが求められています。加えて、変化が激しく予測できない未来を切り拓いていくためには、様々な課題に対して、仲間と協力しながら主体的に対応していく力を育ていくことも必要になります。

キャリア教育は、学校で学ぶすべての活動、つまり、各教科、道徳・総合的な学習の時間などの授業、生徒会・委員会・係活動、行事、部活動などのすべての活動を通して「基礎的・汎用的能力」（コミュニケーションの力、課題を把握・解決する力、自分を知り・改善する力、将来を考える力）を育成することを目指します。

国際的な学力調査の結果から「学習に対する意欲の低さ」「何のために学んでいるのか分からない中での学び」「受験終了とともに剥落する知識」などの課題が、日本の若者の傾向として指摘されています。こうした課題を改善していくためにもキャリア教育が重要な役割を果たすと言われていています。つまり、キャリア教育は、学力を向上させていく上でも、大変重要なのです。

岸川中の校訓は「自主・協同・創造」です。3年間の学校教育を中心とした様々な活動を通して、自分で考えて行動する力、仲間と協力し支え合う力、人や社会に貢献しながら、新しい自分と出会い未来を切り拓く力を伸ばし、未来を担う若者の育成に力を入れていきたいと考えています。